

「情報デザインの手法を取り入れた情報の授業」

神奈川県立湘南台高等学校 諏訪 雅行

[1] 情報デザインとは

- 情報の出し手の論理ではなく、受け手の論理を優先する
- センスではなく、細かな技術の積み重ね
- 理解・観察・視覚化・評価と改良・実現（IDEOの5つのステップ）

[2] 実践報告

1. チラシ制作「湘南台高校の紹介」

- ① 状況が違えば作り方も違う。状況を明確にする。
- ② ユーザを明確にする。（ペルソナ作り）
- ③ センスではなく、技術の積み重ね。
 - チラシを比較しポイントまとめる
 - ・ 観察力を養う
 - ・ 誰が読んでも理解できるように具体的な文章でまとめる。
- ④ 評価のポイント
 - (ア)情報の重要度が表現できているか
 - ・ 文字の大きさ・色・フォントの工夫
 - (イ)必要な情報が記載されている
 - (ウ)見やすさ

2. 地図製作「駅から、湘南台高校まで」

- ① 授業の流れ
 - (ア)地図づくりのポイント (1.5 h)
 - (イ)地図づくりの練習 (1.5 h)
 - (ウ)地図づくり (2 h)
 - (エ)相互評価 (1 h)
- ② 評価のポイント
 - (ア)目的地「湘南台高校」が上部にあり、目立つ工夫がされている。
 - (イ)道路の太さにメリハリがある。
 - (ウ)出口が目立ち、周囲の情報が記載されている。
 - (エ)分岐点などの情報が記載されている。
 - (オ)小田急線の情報（至藤沢等）が記載されている。
 - (カ)適切な色遣いがされている。（ユニバーサルデザインの観点）。
 - (キ)丁寧に作図をしている。

3. 図解表現「カップラーメンの作り方」

- ① カップラーメンの作り方（蓋を開けてから食べるまでを）を詳細に思い出し、最初は文字で図解する。
- ② 言葉を使わないで表現する。